

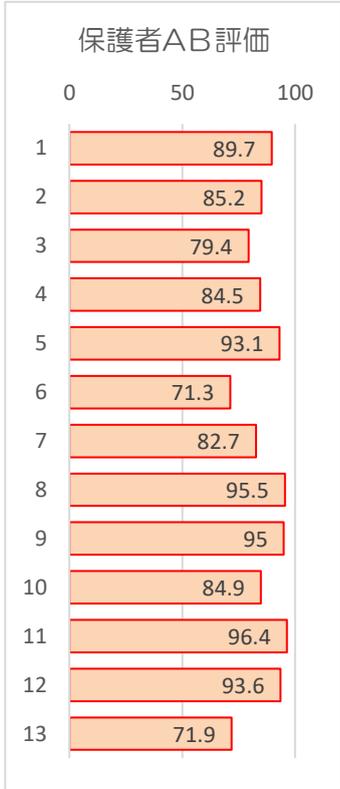


がっこうきょういくかつどう けっか 学校 教育 活動 アンケート の 結果

12月に学校教育活動アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。児童アンケート(1~6年生対象)と合わせ、設問と結果概要を報告いたします。アンケートには、「ア：そう思う、イ：どちらかといえばそう思う、ウ：どちらかといえばそう思わない、エ：そう思わない」から回答いただきました。学校として、アとイは「肯定的」、ウとエは「改善が必要な項目」ととらえ分析、検討を行いました。この結果は、今後の学校運営の改善に活用させていただきます。

R6保護者アンケート

- 1 学校によろこんで登校している。
- 2 家庭学習(宿題など)の習慣が身についている。
- 3 明日の学習の準備を忘れずに自分でしている。
- 4 家庭や地域できちんとあいさつしている。
- 5 友だちや家族、まわりの人の気持ちを思いやって行動している。
- 6 月に一冊程度は、本を読んでいる。
- 7 自分の力を発揮して、学習や様々な活動に参加している。
- 8 学校は基礎基本の定着に努め、学力の向上に取り組んでいる。
- 9 学校は体力の向上に取り組んでいる。
- 10 学校は通信や学校ホームページなどで十分に学校の様子が分かる。
- 11 学校は授業公開、学校行事などを十分にやっている。
- 12 私は授業公開、学校行事、通信などで学校の様子を知らうとしている。
- 13 私はPTAの活動、登下校の見守りなどで、学校に協力している。



保護者のみなさまからの回答は、学校に対してはほとんどの項目で80%以上の肯定回答をいただいております。一定のご理解をいただいていると感じました。ありがとうございます。

特に⑧の「学校は学力の向上に取り組んでいる。」について95.5%の肯定回答となり、学力向上に向けての取り組みを評価していただけたと思います。また、⑪「授業公開や、学校行事を十分にやっている。」は、96.4%の肯定回答となっており、保護者のみなさまに来校いただき、子どもたちの様子を見ていただけたことと思います。一方で記述のご意見の中に、「授業公開が多く参加が困難である。」「兄弟の参観するには1時間の公開では忙しい」というご意見もいただいております。来年度以降の学校公開の仕方について、検討していきたいと思っております。

⑥の読書活動については、保護者のみなさまが子どもの読書離れを危惧していることがうかがえます。しかし児童アンケートでは85.7%の子どもが月に1冊程度本を読んでいると答えています。

子どもたちは電子図書館などで本を読める機会が増えているためと思われます。本が好きな子どもがさらに増えるよう、学校と家庭で連携して、読書週間などの取り組みを進めたいと思います。

R6 児童アンケート

- 1 学校は楽しい。
- 2 家庭学習(宿題など)をしている。
- 3 明日の学習の準備を自分でしている。
- 4 あいさつしている。
- 5 友だちや家族、まわりの人の気持ちを大切にしている。
- 6 月に一冊程度は、本を読んでいる。
- 7 授業では自分の考えを書いたり伝えたりしている。
- 8 授業はわかりやすく楽しい。
- 9 体力づくりや運動をしている。
- 10 授業ではよく聞いている。
- 11 自分のことを分かってくれる友がいる。
- 12 自分にはよいところがある。
- 13 ルールを守っている。



子どもたちの自己評価としては、すべての項目で肯定回答が80%を超えていますが、昨年度と比べるとどの項目もやや低くなっています。

①の「学校は楽しい」⑧の「授業はわかりやすく楽しい」は、両方共が85%台となっていて、相関関係があると考えます。否定的な回答の児童がいるということに目を向け、学校や授業が楽しいという子を増やせるように、授業改善を続け、子どもたちが主体的に学び、楽しく学校生活を送れるようにしていきたいと思ひます。

⑫の自尊心に対する回答については、子どもたちの自尊心の低さを課題として取り組んできていますが、昨年度と比べて4.4%低くなっていました。今までの取り組みを振り返り、違う側面からのアプローチも考え、学級の中で子どもたちの活躍の場面を作るとともに、自分のよさを自覚できるような取り組みを続けていきたいと思ひます。また、⑤の「友だちや家族、まわりの人の気持ちを大切にしている。」という子が96.7%と多いのはやさしい気持ちで周りとは接している子が多いということでうれしくなりました。しかし⑫の結果と合わせて考えると、相手のことを気にしすぎて、自分のことは後回しにしているかとも危惧します。一人一人が大切な存在として学校生活を送れるように子どもたちの様子を見守り、教育活動を続けていきたいと思ひます。



今後も、学校と家庭の両輪で子どもたちの成長を支えていきたいと思ひております。どうぞよろしくお願ひいたします。